

令和8年度第2回番組審議委員会(書面開催)議事録

1 開催年月日 令和8年9月 ※書面開催のため、月だけ記載

2 委員

- ① 委員総数 7名
- ② 回答委員数 7名
- ③ 回答委員 種橋 潤治 (株式会社三十三銀行特別顧問)
小林慶太郎 (四日市大学 総合政策学部 教授)
小松 威仁 (四日市市 市民生活部 部長)
馬瀬 隆彦 (四日市市スポーツ協会 会長)
佐々木薫子 (四日市商工会議所女性部 副会長)
松井真理子 (特定非営利活動法人
市民社会研究所 代表理事)
出口 功 (特定非営利活動法人
菰野町スポーツ・文化振興会 事務局長)

3 審議番組

特別番組「御在所ロープウェイ公開生放送」

2026年8月2日放送 10時からの約60分間

4 審議内容

①視聴番組に対するご意見・ご感想

■良い点 ■改善が必要な点 ■今後の課題 等をお聞かせください。

委員：＜良い点＞

社内スタジオを出て、御在所ロープウェイのふもと駅前広場に設置した特設放送ブースからの放送は臨場感があり、前を通り過ぎる人々が手を振る様子を想像でき、御在所岳を目の前にした観光ポイントの紹介はより現実的に捉えることができた。音声だけで、映像のない世界で、想像力を働かせることができるのは、ある程度土地勘がないと難しいものの、土地勘がないリスナーは行ってみたいと思える流れになっていたと思う。

何よりも素晴らしかったのは、御在所ロープウェイ広報担当の方です。現職のアナウンサーと甲乙つけがたい、声のトーン、話すスピード、無駄のない説明、MCとの会話等、聴いていて、時間の経過を忘れるほど、心地よい番組に仕上がっていた。ブランコの乗り方も教えていただき、乗ってみたい気持ちになった。山上公園のココルテラスの名前の由来や、いたるところでフランス語が使われていることを初めて知り、誰かにしたり顔で話せる知識だと感じた。ミュージックの選曲と流すタイミングも絶妙に感じた。

＜改善するとよい点＞

山上レポートは、中継電波の状況が良くないのは山岳地域であれば已むを得ないところがあり、現場の状況を伺い知れる面もあるが、情報をもう少し詳しく聴き取ろうと努力するとストレスを感じる。

素晴らしい情報を伝えているので、適切な中継基地の設置など、電波状況の改善にも努めていただけたらと思う。

＜今後の課題＞

公開生放送の継続は是非ともお願いしたいが、天候による予想できない不具合が生じた場合の対応、代替企画の準備が負担になることが懸念される。

今回のような素晴らしい対応をしていただける人材がいることは、まれだと思うので、リスナーに心地よい時間を届けられるメンバー選定に苦労することは想像に難くないと思う。

これからも、臨場感のある楽しい放送に尽力いただくことを期待する。

委員：番組の導入部分のテンポが重いように感じた。

公開放送なのでもう少し軽いテンポのほうがよかったのではと思う。

ゴンドラを公開仮設スタジオとして利用していたのをトークに盛り込んでもよかったと思う。

スーパー登山部、皆さんご存知の…とのことだったが、はじめての視聴者にむけて、少し説明が欲しかった。中継地とのやり取りが聞き取りづらかった。楽しそうなブランコの話しをもう少し鮮明に聞きたかった。

広報担当者の説明が大変わかりやすく、声も清々しくて御在所ロープウェイにピッタリ、トークの中で山頂の肌寒さや情景が浮かんできた。

委員：＜良い点＞

御在所ロープウェイ広報担当のトークは明るく聞き取りやすく、御在所、夏山の魅力をわかりやすく伝えていた。

＜改善が必要な点＞

公開生放送なので、難しいところもあると思うが、臨場感が欲しいと感じた。山上広場、COCORU（ブランコ）などで楽しむ人たち声や赤とんぼマーキングをしている子ども達の声が聴けたらもっと楽しさが伝わるのではないかと思った。

＜今後の課題＞

御在所ロープウェイのゴンドラ内の様子、そこから見える景色なども臨場感をもっと伝えられると楽しさが増すと思う。

委員：8月上旬の酷暑・猛暑の中において、「21℃」「涼しい」「爽やかな風」といったキーワードを耳にすることで、涼を求めて訪れてみたい！という気持ちになった。

展望台の様子、展望台からの眺めなど、行ったことがない人にとっても映像が浮かぶような、分かりやすい説明があり良かった。

名古屋を拠点に活動する「スーパー登山部」に関して、メンバーやバンドの特色など説明や紹介があっても良かったと思う。今回楽曲を初めて耳にし、とても気に入った。

番組が始まり、そろそろ山頂の様子がと思い出したタイミングにレポートが入り、流れ的には抜群だった。ただし、回線の影響からか内容が聞きづらく伝わらない場面が度々あった。全体で2時間分のうちの前半部分だけであったが、番組構成的には非常にまとまりがあってよかったと感じた。

委員：＜良い点＞

さわやかな山の風を感じさせる選曲で、この番組で伝えたかったであろうことと良くマッチしていて良かった。

山上での、リポートのウキウキした感じのトークもリゾートっぽく涼しげな雰囲気が伝わってくる感じで良かった。COCORUテラスの存在は、不勉強でこの番組を聴取するまで知らなかったが、番組を聴いて、ぜひ行ってみたいと感じた。メインパーソナリティの方のノリと声も味があって良かった。

＜改善が必要な点＞

山上からの電波状況が悪く、一部聴き取りづらかったのはとても残念。この電波状態が改善できないのであれば、山上パーツは、臨場感は損なわれるが、予め収録しておいて挿入するのも、一つの手だと思う。

<今後の課題>

このような良質な自主制作番組の比率を、もっともっと上げて行って欲しいと感じるが、経費的に難しい部分もあると思う。そのあたりが今後に向けた経営的な課題かなと思う。

委員：長らく御在所に行っていないので、いろいろ想像しながら楽しく拝聴できた。公開生放送なので、現場にいる人は楽しかったと思う。

ただ現場にいないリスナーには、仕事などをしながら耳だけで聞くことになるので、1時間は長く感じた。

せっかく現場に出ているので、現地にいる登山客へのインタビューなどがあると、リスナーも行ってみようという気になるように思う。

特設放送ブースの声はよく聞こえたが、山頂の声は聴きとりづらかった。

「高さ」を説明するのが「涼しさ」だけでなく、「電波」にも言及するとよかったかもしれない。

間に3曲歌が挿入されたが、最初の「スーパー登山部」とは何か、全くわからなかったので説明がほしかった。他の2曲も含め、山・観光地などを意識した選曲だったかと思う。ただ話の内容に応じて「赤とんぼ」「アルプス一万尺」など、誰でも知っている曲を1つ入れることも考慮してはどうか。

展望テラス、絶景ブランコの説明を聞いて、行ってみたいくなった。

委員：声や音楽の音が聞き取りやすく、非常に地域にあった情報を明るくリズミカルに届けてくれるところに大きな意義を感じた。

赤トンボ、ロープウェイ、山頂テラス、現場の状況が鮮明に見えるようであった。音楽等の音質が非常によく、気分を明るくすることが出来た。“風と街”音楽がナイスだった。

②番組制作全般に対するご意見、ご提案など

委員：地域に密着した話題を採り上げていただいたり、四日市花火大会の実況放送など、リスナーが楽しめる番組づくりに尽力している。

今後も、FM放送を聞き流すものでなく、じっくりと聴きたいと思っていただける番組制作に努力を続けていただくことを大いに期待する。

委員：今回のような地域密着の番組をもっともっと増やして行って欲しい。

それとともに仕事等で四日市に来られて、四日市の地理や地名に詳しくない方にも伝わる工夫は、今後も忘れずに意識して行って欲しい。

例えば、交通情報で、「国道23号線は四日市市羽津で…」のような言い方を聞くことが有るが、四日市にお住まいの方でも、羽津は広いため「羽津」と聞いてイメージする場所が「羽津病院」「羽津小学校」などと人によって異なり、23号線の羽津という言い方の違和感を持たれるケースもあると聞く。

「23号線は四日市ドーム前あたりで…」などの、分かりやすい伝え方をしたいって欲しい。

委員：地域の企業の取り組みやイベントの取材には感謝している。

地域の課題に高校生・大学生・市民団体等と一緒に取り組む、少し継続的な企画があるといいと思う。

5 記事の公示

CTY-FM ホームページにて 2026年10月1日 公示

以上